小松市教育委員会会議録

会議名	令和4年第5回小松市教育委員会定例会					
開会月日	令和4年5月16日(月)	場所	教育長室			
会議時間	(開会) 午後2時30分～(閉会) 午後2時20分					
休憩時間	① (休憩) 午前・午後 時 分～(再開) 午前・午後 時 分 ② (休憩) 午前・午後 時 分～(再開) 午前・午後 時 分					
委員の出席	教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
	委員	吉原 慎吾	出席	委員	中惣 恭子	欠席
	委員	勝木 克子	出席	出席委員 3名 欠席委員 1名		
出席説明者	教育次長 林 政憲	出席	教育次長(社会教育担当) 横山 昭博			出席
	シニアマネージャー 中田 一宏	出席	教育庶務課長 東谷 勝美			出席
	学校教育課長 岩脇 司	出席	教育研究センター所長 表 久美子			出席
	生涯学習課長兼未来型図書館づくり推進チーム課長 坂下 義規	出席	図書館長兼南部図書館長 梶谷 外希子			欠席
	ひとつものづくり科学館副館長 宮島 浩典	出席	市立高校事務長 出口 真澄			出席
書記	教育庶務課主幹 北野 芽未	出席				
傍聴者	1 名					
会議に付した議題	【議案】					
	・議案第9号 小松市社会教育委員の選任について(生涯学習課)					
	・議案第10号 小松市立高等学校の体育施設の開放に関する規則の制定について(市立高校)					
	【報告事項等】					
	・令和4年度小松市教育委員会研究指定校等について(学校教育課)					
	・令和4年度小松市立小・中・高等学校及び義務教育学校運動会日程について(学校教育課)					
	・小松市学校給食調理等業務委託について(学校教育課)					
	・令和3年度教育相談の概況について(教育研究センター)					
	・ひとつものづくり科学館4月報告について(ひとつものづくり科学館)					
	・吹奏楽部第41回定期演奏会について(市立高校)					

教育委員会報告

令和4年5月16日

【議案】

件名	議案第9号 小松市社会教育委員の選任について
所管部課名	生涯学習課
内容	任期満了に伴い、関係機関から推薦のあった9名を選任するもの。小松市医師会の委員の推薦については、決まり次第推薦をいただく。
教育委員等の意見	特になし
	議案第9号 承認

件名	議案第10号 小松市立高等学校の体育施設の開放に関する規則の制定について
所管部課名	市立高校
内容	これまでは小松市立小学校等の体育施設の開放に関する規則に準じて実施していたが、運用が異なることから、市立高校独自の規則を制定するもの。使用の条件は概ね小中学校と同じ。高校の部活は午後7時までであるため、利用時間は午後7時以降である。
教育委員等の意見	特になし
	議案第10号 承認

【報告事項等】

件名	令和4年度小松市教育委員会研究指定校等について
所管部課名	学校教育課
内容	令和2年度より3年指定の研究継続校は今年度が最終年度。今年度より2年・1年指定の新規研究校は3校。各指定校においては、課題に応じた研究が行われ、成果を実感できる取り組みとなるよう学校と連携していく。
教育委員等の意見	【北村委員】 推進校の選定理由を聞きたい。また、今年度の指定校が少ない理由を教えてほしい。指定が先生方の負担ではないか心配である。

回 答	<p>【岩脇学校教育課長】 探究的な学習の充実の指定校については、串と御幸は同じ校下であり、地域で取り組めるように指定した。</p> <p>3年間の指定は長くやるメリットもあるが固定されてくる。あまり固まることのないように、短いスパンでやっていく新たなかたちで指定校を考えていくということで、新規は特に増やしていない。</p> <p>【石黒教育長】 探究は、教育委員会をあげて新しい学習指導要領に応じてすすめていく。教科書から出た、社会とつながった学習が今から求められる。研究発表も小規模なものを含めて年複数回行い、広げていきたい。</p> <p>G I G Aスクール構想は急激な変化で、学校間でも進みに差がある。研究も大事だが、今年はG I G Aスクール構想に力を入れていきたい。</p>
-----	---

件 名	令和4年度小松市立小・中・高等学校及び義務教育学校運動会日程について
所管部課名	学校教育課
内 容	1学期に実施する学校は、小学校2校、中学校2校の計4校。残りは9月・10月の秋開催。各学校の施設環境、児童生徒数を適切に判断して感染予防対策を徹底して実施する。
教育委員等の意見	<p>【北村委員】 小学校は土・祝日開催で、中学校は平日開催である理由はなにか。</p>
回 答	<p>【岩脇学校教育課長】 市から指定はしていない。各学校の地域の事情に合わせて設定している。</p> <p>【石黒教育長】 中学校はこの時期の土日に新人戦等の体育大会・練習試合があることが多い。いろいろな行事が重なっている。</p>

件 名	小松市学校給食調理等業務委託について
所管部課名	学校教育課
内 容	令和5年度は、令和4年度末で委託契約期間を終える5校の継続に加え、新たに那谷小学校、松陽中学校を委託する。委託事業者はプロポーザル方式により10月頃に選定。
教育委員等の意見	特になし

件名	令和3年度教育相談の概況について
所管部課名	教育研究センター
内容	<p>令和3年度の相談件数は、昨年度より増加傾向にある。相談内容は不登校、発達に関することが多い。3月に増えているのは、次年度を見据えての保護者、学校との連携を強化したことによる。</p> <p>ふれあい教室については、新型コロナウイルス感染予防のため調理実習は見送ったが、外部の先生との関わりによる体験活動を初めて取り入れた。</p> <p>令和3年度の訪問相談は、すべてを外部機関につなげることができた。</p>
教育委員等の意見	<p>【勝木委員】 不登校の外部機関との関係が構築されていないという点の、外部機関とはどういうところか。 学校を卒業して外部とつながりのない方がなんらかの形で社会とつながっているということはとても大切なことである。</p> <p>【吉原委員】 相談がない、1回来たが来なくなったというケースはあるか。</p>
回答	<p>【表教育研究センター所長】 中学校卒業後どこもつながりがなくなるご家庭を、早いうちからくらしあんしん相談センターや発達支援センター、児童相談所、病院などにつなげられるようにしている。 1回だけ来て来なくなる人はいるが、こちらから連絡をしてつながりをもつようにしている。 他の所に行って相談するのが難しいご家庭には、訪問相談を行なっている。</p>

件名	ひととものづくり科学館4月報告について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内容	<p>平井先生に講座を実施していただいた。レゴプログラミング体験教室は年長児から参加できるものにした。入館者数は5,825人で少し戻ってきている。多様な化学、幅広い年代の利用をすすめていく。 不登校の中学生の居場所づくりのため、ステップルームとして第1・第3水曜日に利用できるようにしていく。 企業との連携もすすめている。</p>
教育委員等の意見	<p>【勝木委員】 小さなお子さんから楽しめるようなプログラムになっていてとて</p>

	もよい。学校に行く前の小さな頃からいろんな体験ができると、勉強ではなく遊びとして捉え、化学に興味をもついい機会である。
--	---

件名	吹奏楽部第41回定期演奏会について
所管部課名	市立高校
内容	6月4日(土)に2回公演する。今年度は3年ぶりに座席の制限がなくなった。部員の保護者、市立高校関係者、中学校・高校の吹奏楽部関係者に整理券を配布する。これまで同様、感染症対策を行う。
教育委員等の意見	特になし

件名	前回の教育委員会会議の質問事項について
所管部課名	学校教育課、市立高校
内容	<p>【岩脇学校教育課長】</p> <p>中学受験について。今年度入学した生徒は17名。若干多くなっている。兄弟が既にその学校へ進学している、部活動の関係、今後の進学を見越して等の理由による。</p> <p>30日以上長期欠席者について。令和3年度は小学生67名、中学生143名。国と同様に増加傾向にある。</p> <p>【出口市立高校事務長】</p> <p>ヤングケアラーについて。現在、家族の介護・世話のために悩んでいる生徒の相談はない。令和3年度の就職者の就職理由ではない。今年度の就職予定者は7、8名であり、ヤングケアラーではない。</p>
教育委員等の意見	特になし

【その他】

件名	次回教育委員会会議日程について
内容	日時：令和4年6月3日(金)午前10時30分 場所：市役所 6階 教育長室

【教育委員からの意見・提言】

吉原委員	先日、石川県教委連定期総会に出席した。先生の働き方改革についての講演があった。各教育委員会は、実態をしっかりととらえ、目標を持って独自の工夫で積み上げていくことが必要である。
------	---

勝木委員	GWが長かったせいか、お子さんの学校の生活リズムが崩れている。対応する先生も大変なので、生活リズムを戻すように頑張してほしい。
北村委員	特になし。